

会 議 概 要

会議の名称	令和3年度弘前市学校給食審議会第1回会議
開催年月日	令和3年8月25日（水）
開始・終了時刻	13時15分 から 14時30分 まで
開催場所	岩木庁舎2階多目的ホール
出席者 (21名)	<p>・審議会委員11名</p> <p><u>金井昌行委員（会長）</u>      左川佳子委員      瓜田正勝委員  葛西孝司委員      福島龍之委員      小渡真季委員  木村知広委員      佐々木克典委員      田澤麻吏委員  小田桐有為子委員      <u>中島里美委員（副会長）</u></p> <p>・事務局10名      教育部長      ほか</p>
会議概要	<p>1 開会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・委嘱状交付</li> <li>・教育長挨拶</li> <li>・出席委員紹介</li> <li>・会長及び副会長の選任</li> </ul> <p style="padding-left: 2em;">委員の互選により、会長に弘前地区小学校長会推薦の金井委員、副会長に柴田学園大学短期大学部推薦の中島委員を選出</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会長挨拶</li> </ul> <p>2 報告</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">(1) 弘前市の学校給食実施状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主な意見</li> </ul> <p>(委員)</p> <p>衛生管理についてですが、昨今の新型コロナウイルス感染予防のために何か特別に取り組んでいることはあるか教えて欲しい。例えば換気であるとかソーシャルディスタンスであるとか。それとも今まで通りであるのか。</p> <p>(事務局)</p> <p>特にこの部分について取り組んでいるということはないが、それぞれ細目に丁寧にとということに気を付けながら衛生管理を行っている。</p> <p>(事務局)</p> <p>細かい点でいうと、お昼に調理員が昼食をとる際、これまでは向かい合って食べていたが、学校と同じ形式で向かい合って食べないであるとか、なるべく喋らないように場所を決めて食べるなどの配慮をしている。</p>

(2) 学校給食における弘前市の取り組みについて

・主な意見

(委員)

地産地消について、味噌が100%弘前産となっているが、これは弘前市内の店で作られた味噌ということか。それとも大豆などの原料が弘前産ということか。

(事務局)

味噌は、大豆が弘前産を使用しています。製造業者は市外の業者となっている。

(委員)

アレルギー対応食は全て市で負担しているとのことだが、平成25年からその決まりでやっているのか。また、全国的にもアレルギー対応食は市が負担している傾向にあるのか。年々対象者数が増加しているのでこれから大変になってくると思うが、どのような配慮でそうした対応をしているのか。

(事務局)

アレルギー対応食はセンター給食のように一食分全てを提供する方法ではなく、一品一品に対して提供していることから、単純にセンター給食の提供数から対応食提供数を減らすことができない形となっている。そのため、現状の対応食提供方法では、経費のすみ分けが難しいことから、アレルギー対応食に要する食材費は市で負担している。アレルギー対応食の提供を受けている児童生徒からもセンター給食の提供分として給食費をいただいているので無料で食べているという訳ではない。他の市町村の負担状況については現状では把握していない。

(委員)

コロナになってから、残飯が多く出ているというニュースを目にしたたり、他県の知り合いからも話を聞くことがあったが、残飯の量は集計しているか。

(事務局)

残渣については集計している。コロナ禍になって急な休校などにより残渣が突出するような日はあったが、全体的に特に多くなったという傾向はない。

(委員)

コロナ絡みですが、昨年度県の事業を利用したということで、A5ランクの牛肉を食べていたんだとびっくりしたが、令和3年度も同様

の事業があるのか。また、A5ランクの牛肉が提供されているという宣伝などはされていたのか。

(事務局)

現在のところ事業についての連絡はきていないため、3年度はおそらくないのかなと考えている。

広報の方法ですが、A5ランクの牛肉については、放送資料を活用して現場には説明をさせていただいていた。年間の中で、A5ランクの牛肉をいただいた月と給食費で買った通常の牛肉の日があったが、A5ランクの牛肉の時だけ放送資料で紹介した。

### 3 案件

#### 弘前市の学校給食における食育活動について

- ・事務局から当市で行っている「学校給食における食育活動」について説明。
- ・主な意見等は以下のとおり

(委員)

小学2、3年で「おやつを上手にとろう」という食育指導を行っているが、経過ではおやつを食べる時に体のことを考えて食べようと思った児童が増えているが、それを継続させるために取り組んでいることはあるか。

(事務局)

給食センターの栄養教諭・栄養士が各学校に指導に行くのは年に1、2回しかないため、授業が終わった後に授業内容をシートにまとめたものを学級担任に提供している。その後、学級担任の先生から学級の様子をみて、事後指導をしてもらえるようお願いしている。

(委員)

「献立のお知らせ」についてありがたいな、良いなと思う点についてお話ししたいと思う。学校では子供たちが献立のお知らせについても毎月楽しみにしていて、実に良く見ている。また、家庭への啓発にもなっていると思うので、今後もより工夫して継続していただきたいと思っている。また、資料にはないが、給食センターからの献立の放送資料が学校に届いているが、その給食の話をお昼の放送で毎日のメニューや給食の話を給食委員や放送委員が全校にアナウンスしている。現在はコロナ禍で黙食となっているが、その放送を日々聞いて、各学級で話題にしているので、常時の食育活動となっていて大変ありがたいなと感じている。また、「献立のお知らせ」のちょっとした紹介などを児童集会の発表の参考にしたり、ポスター作りの資料のヒン

トとしても役立たせてもらっていたので大変ありがたいなと思っています。今後も期待しています。

(委員)

食の指導での指導前、指導後の挙手でのアンケートで子供の変わりが分かって良いが、最後、児童の変容で「お話ししたいと思った」というところで終わっているの、やはり小学生の食生活は家族の責任が凄くまだまだ大きいと思うので、やったことを家でお話しして欲しいなと思う。大変かもしれないが、やったことを本人が家族に伝えて、それについて家の人から感想を書いてもらうなどの体制づくりをすれば必ず家で話すようになると思うので、子供からの発信するところをもう少し押すと凄く良くなると思う。そうすればうちでも学校でどういうことを学んだか分かるし、うちでもこうしてみようかなど、1年も続かないかもしれないが、それでもその時何か月間位はおやつこうしようかって親子で話し合う機会にもなるので、事後のところがあれば凄く効果的かなと思う。

(委員)

食育の指導実績について、延べ時間と延べ人数が記載されているが、全児童の内、どの程度の割合の子に食育指導ができていたかが分かる資料があれば良いと思う。

I Tの活用も目標に掲げられていて、9月からリモートでの食育指導を行う予定とのことだが、どのような感じで行っていくのか凄く興味があるので教えて欲しい。

(事務局)

割合についてはすぐにお示しできないが、資料に記載されている人数は、延べ人数となる。食の指導は学校からの希望に応じて行っており、マックスの年2回全部の学年で要請する学校もあるため、同じ児童が重複してカウントされているものである。

リモートについては、学校から希望のあった「おやつ」、「朝ご飯」、「食事のマナー」、「食物アレルギー」について実施することとしており、今まで対面で行っていた話のことをプレゼンなどに載せて、やり取りをするということで内容を考えている。リモートの方法としては、学校にクロームブックが入っているので、Google の meet でやる予定である。

(委員)

食育に関するイベントについてだが、実際に展示イベントを息子と一緒に見てきた。広い会場の中にひっそりとパネルが置かれている状

態で、その時は説明してくれる人などいなくて、親の方から食育に関することにアンテナを張ってないと探せないような感じがした。子供が学校に通うようになって給食を食べるような年になってもこのようなイベントは続いていくことだと思うし、献立のお知らせをもらっても、親までお知らせがきちんと届かないか見ているかも分からないこともあると思うので、もう少し親に向けて発信するような何かがあれば良いと思う。

#### 4 閉会